

キャラクター名  
イヴァン・ブラギンスキ

プレイヤー名

シンドローム	オルクス		ワークス	研究者	カヴァー	研究者
	オルクス					
オプション			年齢	24	性別	男
覚醒	命令	衝動	憎悪	初期侵食率	33	%
出自			経験	邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	0	0	1			1	行動値	9
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	9
精神	2	1	2			5	戦闘移動	14
社会	4	0	0			4	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：四輪			芸術：			知識：	4		情報：学問	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手	白兵	1r		-5		
ポーチヴァクリク	RC	6r+4		5(LV+2)+5		侵蝕値5 射撃攻撃①+③+⑧
ポーチヴァクリク トロイ	RC	6r+4		10		侵蝕値8 射撃攻撃①+②+③+⑧ 3体攻撃
サヴェルシエンストヴォ	RC	10r+4		10		侵蝕値11 100↑射撃攻撃①+③+④+⑧

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
防弾防刃ジャケット	10	3			

所持品	
コネ：研究者	
コネ：手配師	
歪んだ王国	

合計装甲： 3 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
ソフィヤ・ミシエルカ	P 傾倒	N 悔悟		
ナターリヤ・アルロフスカヤ	P 慈愛	N 恐怖		
トリス・ロリナイティス	P 信頼	N 猜疑心		
ルーカス・ボンネウィーク	P 有為	N 憎悪		
アーサー・カークランド	P 好奇心	N 不快感		
キク・ホンダ	P 好奇心	N 隔意		
超血統	P	N		

最大財産P: 10 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：	C値-LV(下限値7) <シンドローム>							
要の陣形	3	3	メジャー	-	3体	-	-	
効果：	シナリオLV回。対象を3体にする <シンドローム> Dロイスにより最大レベル+2							
大地の牙	3	1	メジャー	視界	-	対決	-	
効果：	攻撃力：+[LV+2]射撃攻撃、ドッジ判定-1 <RC>							
完全なる世界	3	6	メジャー	-	-	対決	100↑	
効果：	ダイス+[LV+1]、リアクションのC値+1 <シンドローム>							
復讐の領域	1	4d10	オート	視界	単体	自動	120↑	
効果：	シーン1回。受けたダメージをそのまま返す							
支配の因子	1	6	セット	視界	シーン	自動	ピュア	
効果：	シナリオ1回。対象が行う攻撃の攻撃力-[LV×5](最大0)							
ナーブジャック	1	4d10	メジャー	視界	単体	対決	120↑	
効果：	対象の<意志>と対決。勝利時、対象のメジャーアクションを即座に開始させる。回数制限のあるエフェクトの使用不可 <RC>							
絶対の空間	1	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	ダイス+[LV]							
不可視の領域	1	-	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果：	[LV×1000]㎡の場所を隠蔽する							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

オルクス ピュアブリード  
 大手の製薬会社で働く好青年。その本性はFH陣営に与する研究者で、オーヴァードの覚醒理由やレネゲイドウィルスの出所などを興味本位で調べ続けている。しかし、覚醒した自分は他者と違うことを理解した上で一般人を見下すように啾うのは、持て余した力が性格を歪めてしまったが故か。氷のような笑みはその二つ名を確実のものとし、激しい憎悪を覆い隠している。  
 姉のソフィヤ、妹のナターリヤとは家庭環境が複雑で一線を引いたような関わり合いをしている。間に挟まれた男、ということも影響しているかもしれない。だが、理想郷は姉の描く世界。その世界を手に入れる為なら、いくらでも世界を捻じ曲げるだろう。  
 一人称/二人称 僕/君